

# こうざいひろあきせんしゅ 香西宏昭選手 プロフィール



- 1988年** 7月14日生まれ 千葉県出身 生まれた時から、ひざから下がなかった。小学校の休み時間には野球やドッジボールをして遊んだ。勉強が苦手だった。
- 2000年** 12才の時に、車いすバスケットボールに出会う。名門「千葉ホークス」で、本格的に車いすバスケットボールを始める。
- 2001年** アメリカのイリノイ大学の車いすバスケットボール部の、当時のヘッドコーチ（世界一のコーチと言われていた）のマイク・フログリーの指導を受け、車いすバスケットボールがますます大好きになる。
- 2006年** イリノイ大学に行って、フログリーからもっと学びたいと思いつつ、家族のもとをはなれることと、すべて英語の生活がこわくて、進路になやみ、家族やコーチに何度も相談する。
- 2007年** 高校卒業後、イリノイ大学に入学するために、一人でアメリカに行くことを決意。自分で決めたのに、出発直前、不安で行くのがいやになり大泣きした。初めての一人暮らしで、買い物や料理にふんとうする。
- 2008年** 北京パラリンピック車いすバスケットボール日本代表に選ばれるが、きんちょうしすぎて、当時の様子は全く覚えていない。2年半の間、イリノイ大学に入るために、英語ですべての勉強する。同年代の友達がたくさんできた。
- 2010年** 1月にイリノイ大学に合格。あこがれであるマイク・フログリーコーチから指導を受ける。毎朝6:00から早朝練習。その年の全米大学選手権優勝。
- 2013年** 全米大学リーグの年間MVPを2年連続で受賞する。キャプテンとしてもチームをひっぱり。8月、イリノイ大学を卒業。アメリカの大学を卒業できたことが、とてもうれしかった。もっともっと、強く、うまくなりたかったので、9月からドイツ・ブンデスリーガのプロの車いすバスケットボールの選手となる。プロとしての自覚を持ちながら一人暮らしの生活をする。
- 2016年** リオパラリンピックで6位入賞を目標にしていたが、結果は9位。くやしい思いをする。
- 2018年** 東京パラリンピックへ向けて日々挑戦を続ける。
- 2021年** 9月、東京パラリンピックで銀メダル獲得。その後すぐにドイツのブンデスリーガにプロの車いすバスケットボール選手として参戦。
- 2022年** 3月、国際車いすバスケットボール連盟選手委員会のメンバーに選出された。5月、ブンデスリーガ（1部）で優勝した後、日本の障害のある子どもたちのための活動をスタートさせるために日本に帰国。

年 組 名前

たいへん  
1. 大変だったこと (理由も書こう)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

のこ  
2. 今日、心に残ったこと (自分の好きなこと、がんばりたいことはあるかな?)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

パラリンピックの価値

■ ゆうき 勇気 ■ 強い意志 ■ 公平 ■ インスピレーション